

2-1545

0137

秘

露土修好條約ノ内容

一九二一年三月二十六日ツリブーナ所載

莫斯科発無線電信ヲ夕中継三月二十二日

露國國民外務委員會公表左ノ如シ

露土修好條約ニ関スル談判ハ三月十五日ヲ以テ終結セルカ本條約ノ

要領次ノ如シ

露土兩國ハ外國ニ关スル何等ノ協約ト雖モ外國ノ承認セサルモハハ

一切ヲ認メス土耳其領土ハ所謂國民協約即チ一九二〇年二月二十

歐米局長

日君府ニ於テ土耳其議會ノ可決シタル文書ニ從ツテ決定シ土耳其

北東國境ヲ確決スガハ地方ノ自治ヲ條件トシテバツトハナ

領ス土耳其ハバツトハ經由ノ通過貨物ヲ自由ニ輸送スルコトヲ得

ヒチエ地方ハアゼルバイジャンノ保護下ニ於ケル自治領トシテ承認

スアルツウインアルダハン及カシ地方ハ土耳其領トシテ承認スルモエ

リワン鐵道ニ接近セルアレクサンドロポリスキ地方中鐵道線沿道

ノ土耳其側幅八露里内ニ於テ土耳其ハ兵ヲ駐屯セシメス又要塞ヲ築

クスガラスノ鐵道ニ近キ所ニ於テ幅四露里ニ関スル同様規定アリ

露土兩國ノ東方國民ノ自由独立及國家制度ヲ自己ノ希望ニ依リ選定

スル權利ヲ認メ商業用貨物ノ海峡通過ヲ保障スル為メ關係國ノ委員

ヲ會シテ黒海及海峡ニ関スル國際取極ヲ為スヘシ君土丹堡ハ土耳其

ハ首府トシテ承認ス露土兩國間ノ舊條約ヲ廢止シ露國ハ土耳其ノ債

務ヲ免入露土兩國ハ相互ニ他方ニ對スル及政府運動ヲ許サス

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米 3 号 七 五 號

通商

條約

情報

人事

會計

文書

平和條約

調ス

三月 廿六日

4772 (晴) 本有署 大正十年四月 廿六日

内田外務大臣

石井大使

貴電 3 号 七 五 號 大正十年四月廿六日

外務省 於三月廿六日 農政府トコシテ

條約ニ係リ、締結スルニハ、信ニ依ルニ其ノ事ス

トハ、所有セカレ、新夕、掲載セルモ、大要

在、因リ

三月十六日 調仰、考、依、兩締約國ハ、是、カ、以、テ、加、シ、テ、國際行為ヲ、認、メ、ス、カ、耳、在、領

2-1545

0139

大臣 次官 電信課長
 亞細亞 歐米 通商 條約 情報 人事 會計 文書 和平條約 對支文化

一九二〇年一月廿八日、土耳其國民規約依り、
 パルム地方、廣汎に自治制、ト「エリハン」
 地方、
 Hale Kisteharan 地方、自治制、ト「Gerekeidjan」
 地方、ト「Karakan」ト「
 地方、
 西諸土間、既に存、各約、土國が、各地方、自ら、債務
 ト共、協定、初カ、テ、各、西諸土國、各、其
 領土内、於、他國、ヲ、統括、シ、又、西諸土國、
 一、對、之、抗敵、セ、ト、ス、ル、如、何、之、團體、ノ、成立
 ヲ、許可、セ、ル、コト、ヲ、約、ス

件名
 繼込名 對露各省通商條約土

大正十年三月廿五日 記録係 署名

2760 年
 井外務大臣
 芝岡書記官

露土兩山、既、級ノ通、ア、ン、カ、ラ、ニ、社、ヲ、通、商、條
 約、ノ、間、ノ、協議、中、ナル、カ、二、月、七、日、附、公文、交換、ニ、依
 リ、大、記、趣、旨、ノ、暫、定、取、極、ヲ、為、シ、タル、由、報、セ、ラ、ル、
 一、露、山、ノ、直、ニ、君、府、及、ア、ス、ヒ、ル、ナ、ル、ニ、領、事、館、ヲ、開
 設、ス、
 二、土、山、ノ、カ、フ、リス、ノ、ハ、ワ、ー、4、及、ア、エ、リ、ハン、
 ノ、代表、機、關、ヲ、領、事、館、ニ、改、メ、
 三、在、莫斯科、土、山、領、事、館、ヲ、開、館、シ、領、事、ヲ、務、メ、

全地大使館：移る。
 四、露の「Novo Rossisk」及「Alexandropol」土の領事館は在「Karsastirina Engerovna」及「Tuljigord」露の領事館。其供送疎る。
 六、在「ペンコウ」露の大使館。従前通領事事務ヲ執ル。
 七、露の領事館。従テ現の露領事館ノ原則、依ル特典ヲ亨有ル。
 在英、佛、白各大使、軒モセリ。

對露土口ノ通商

第二二五號 (一三三、三、一四)

露土兩國は「アングラ」に於て通商條約に關し協議中であるか二月七日附公文交換に依り左のやうな暫定取極を爲した。報せられて居る

5
 5
 2
 號

- 一、露國は直に君府及「スミルナ」に領事館を開設す
- 二、土國は「チフリス」「バツーム」及「エリバン」の代表機關を領事館に改む
- 三、在莫斯科土國總領事館を閉鎖し領事事務を同地大使館に移す
- 四、露國はノヴォ、ロシスタ及アレキサンドロポールの土國領事館並にカルス、エルツエルム、及トレビゾンド等の露國領事館は其條約に依り
- 六、在「アングラ」露國大使館は従前通領事事務を執る事
- 七、前記領事館は従て現國際法の原則に依る特典を享有す

新聞 大正15年 2月 15日

RUSSIAN AND TURKISH
TREATY IS APPROVED

United Press Service:
ANGORA, February 12—The Turkish Assembly has unanimously approved of the recently concluded Russo-Turkish Treaty. In presenting it, the Foreign Minister described the treaty as an instrument for the preservation of peace.

ロシアとトルコ
の条約が承認された

大正十五年

2-1545

0142

附屬書類添附

通商局第一課

公第 311 號

大正十五年四月十五日

大正十五年六月

第一課録係書

在オデッサ

領事 佐々木 静吾



外務大臣男爵 齋藤 原 嘉重 印 敬

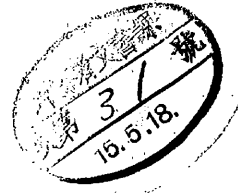
露土商業取極の件

本件は露土間の貿易地及び「カラス」種樹園紙（カラス紙）の
輸入手続に關する協定締結せらるる事なり。即ち土庫に於ては
「カラス」種樹園紙の輸入に關し、及
「カラス」種樹園紙の輸入に關し、及

在オデッサ日本領事館

生れる獸畜、糖類、生糸、及 蘭、カラス紙（種）
漢俗園果ト稱するモノ、甘薯、糖皮材料（使用ス）果實ニ無許可輸
入品目中に入りたる 無花果、胡桃、栗、レモン及 杏仁（俗ニ「ポルト
チ」ト稱ス）ニ新協定ヨリ除カレタリ。ソウイニ「再」キヨリ土庫に
ハ「無許可」ナリナル。棉布、毛織物、麻布、硝子器、陶
器、古鉄ヲ除ク、鑛物製品、木材、紙、漢發製品、漆、
セメント、書道、煙草製品、及「ライスパー」石炭、及
燐燭、更ニ「カラス」種樹園紙、磁器、硝子、麻袋、皮革製品
菓、子、魚類、及 鞋、靴、ヲ「再」キヨリ土庫に
在 露 告 ス

本信を散送先



門	24
類	5/1
項	2
號	

條約局 第一課

第二課

館事領本日サッデオ在

ВТОРНИК, 13 АПРЕЛЯ 1926 Г. № 1906

Новые правила торговли в Турции

Между правительствами Турции и СССР заключено временное соглашение о порядке безлицензионного ввоза (без разрешения паркомторга).

В СССР допускается к ввозу из Турции шерсть и изделия из ангорской шерсти, кожи больших и мелких животных, жиры животные, необработанный табак, шови сырой и в коконах, валонон, семя, сухофрукты и оливковое масло. Ввоз инжира, орехов, каштанов, лимон и апельсин, входивших в прежние списки безлицензионных товаров запрещен.

В Турцию можно ввозить из СССР без лицензий льняные, хлопчатые, бумажные, шерстяные и шелковые ткани, изделия из стекла, фарфора, металлические изделия, за исключением старорукомя железа, лесоматериалы, бумагу, каучуковые изделия, спички, цемент, соду, табачные изделия и папиросную бумагу, мыло и свечи, электропринадлежности, льняное семя, минеральную воду, мешки, кожтопвары, кондитерские изделия, рыбу и красную икру.

大正十五年四月十三日
オオサカ物産会
イロハキヤ
キヤ

2-1545

0144

門 25
25
25
25

外務省文書課
270 號
15.10.26

AMBASSADE DU JAPON
TURQUIE.

公第二一八號

通商局

級込名各國通商条約改定

大正十五年九月十七日

特命全權大使 小幡西吉

外務大臣男爵對幣原喜重郎殿

露土經濟關係ニ関スル件

新土耳其の幣農路問題ニ関シテ存在スル政治的好感ニ鑑ミ經濟的ニ提携ヲ希望シ露土例ニ於テモ土耳其ノ通商關係密接ナラント欲シテ是ノ模範ナルカ實際上海南ノ同端ニ引關係ヲ望ムル種々ノ事情カ發生シテ前記希望ノ實現ヲ衷切ニ現狀免例一ト本年初ニ在府露土貿易代表土耳其在府ノ柑橘類ニ輸

AMBASSADE DU JAPON
TURQUIE.

入許可ヲ拒絕シ然レ柑橘類對露輸出ノ重要項目ナリカ爲土耳其商人ハ大ニ遺憾ノ政府ニ於テモ露土政府ニ交渉スル所アリ結果ハ本年四月在府露土領事院大臣宛公第三一三號報告ノ如ク通商暫定協定ヲ締結シ本問題ハ一段落ヲ生ケテ形ナリ
亦最近ニハバクーニシテプロットニ據テ土耳其商人等加テ拒絕シテ來タ土耳其例ニ昨年ニ許可シ冬ニ拘本年ニ出ロヨリ認可スルハ土耳其例ニ非友誼的ナリト云フ居ル也方西米向ノ懸案ナル通商條約商議ノ進行振務ニシテ今向モスルニ於テ協定中ニ趣テんガ政府機關紙ノ報スルニ依リ土耳其例ニ露土貿易政策ノ変更ヲ欲シ居ル模様ナカ露土ニ容易ニ土耳其例ノ希望ヲ告シ不爲最近土耳其ノ露土ノ態度ニ甚ク遺憾ナシ

2-1545

0145

AMBASSADE DU JAPON
TURQUIE.

才無茶約ヲト看做シ露子ノ輸入品ニ付シ関稅ニ付テ一
 係數一昨年一月より附公第三号抽稅參照ヲ課ス
 決定シ稅關當局ニ其旨命令シ外尤モ石油輸入業者其
 他ニ於テ右政策ヲ批難スモナリ在ニ感憤的措置ナリ
 早晚旧來ノ五倍係數ニ復ス可キト觀測スル所モ
 西女之露路が現政策ヲ固執ス限リ露路ニ貿易ノ前途
 ニハ種々ノ難關が横ハリ容易ニ露路ニ通商關係ニ進展
 シ得ナイモノト當子ニ於テ一般ニ思惟セテ居ル

(以上)

2-1545

0145